

## 朱里エイコ急死 58歳、「北国行きで」ヒット

「北国行きで」などのヒット曲で知られる歌手の朱里エイコ(しゅり・えいこ、本名・田辺栄子)さんが、7月31日に急死していたことが2日までに分かった。58歳だった。病死とみられる。

朱里さんは東京都出身。母は著名な振付師のみさをさんで、39年に「田辺エイ子」(後にエイコに改名)の名でデビューし、43年春に単身渡米。本場ラスベガスでのショーで、「リトル・ダイナマイト」と呼ばれるほどの評価を得て、46年2月に「朱里エイコ」として帰国した。

47年に発売された「北国行きで」の大ヒットで日本でもトップ歌手の仲間入りを果たし、米国仕込みのパワフルな歌声と“100万ドルの脚線美”とまで言われたセクシーなミニスカート姿でファンを魅了。脚に1億円の保険をかけたことでも話題となった。

ただ、朱里さん自身は「英語の歌の方が好きだった」といい、当初はそれほどの思い入れを持っていなかったという。このほか、「恋の衝撃」「ジェット最終便」などのヒット曲がある。

50年に再渡米し、さらに評価を得たが、その一方で、国内では失跡騒ぎやステージのドタキャン騒動を起こすなど、“お騒がせ”スターとしても知られた。

近年は大病を患い、長年にわたって入院。回復してからは「あの人は今」的な番組に出演し、元気な姿も見せていた。年に数回はライブなども行っていたという。

ZAKZAK 2004/08/02



「北国行きで」などのヒットで人気を博した当時の朱里エイコさん(昭和50年)